

■農村研究フォーラムの開催報告

農村地域は、水力、バイオマス、太陽光、風力などの再生可能エネルギーが未開発のまま豊富に眠っています。今回の農村研究フォーラムは、再生可能エネルギーの利活用技術や、農業農村工学分野における技術的課題及びそれらを受け入れる農村地域の社会システムの課題等を明らかにする試みとして開催されました。

●基調講演

- ・河本桂一 様（みずほ情報総研
環境・資源エネルギー部主任研究員）
- ・演題「乾燥地や農業分野における太陽光発電利用の
意義とポテンシャル」
→再生可能エネルギーの利活用は、単なる化石燃料
の代替ではなく、未利用地の有効活用や農業振興
などの観点からも推進すべき。



○講演（１）

- ・吉田修一郎 様（東京大学大学院農学生命科学研究科
准教授）
- ・演題「日本の水田農業は持続的か？」
→食料安定供給に応えるためには、かんがい排水な
どに投入するエネルギー消費量を減らし、長期的
なエネルギー供給リスクに耐えうる農業生産基盤
を築くことが必要。



○講演（２）

- ・後藤真宏（農村工学研究所施設資源部
上席研究員）
- ・演題「小水力発電からみた今後の農村開発」
→水路やダムなどの農業水利施設は、水力発電施設
としても利用でき、農村地域には小水力発電の開
発可能な地点が数多く残っている。



○講演（３）

- ・奥島里美（農村工学研究所農村総合研究部
上席研究員）
- ・演題「農村地域における水熱源ヒートポンプ利用の
可能性」
→農村地域では、農業用水を熱源とする水熱源ヒート
ポンプの活用と発展が期待できます。



○講演（４）

- ・前田 茂 様（農林水産省農村振興局整備部
農村整備官補佐）
- ・演題「農村における再生可能エネルギー導入支援
について」
→再生可能エネルギーを活用してエネルギー自給体制を確立し、農山漁村における新たなビジネスを創出して、雇用と収入を確保していきたい。



○講演（５）

- ・鳥越皓之 様（早稲田大学人間科学学術院 教授）
- ・演題「再生可能エネルギーと農村社会システム」
→再生可能エネルギーを農村社会で普及していくためには、地域社会の作法（ローカル・ルール）との十分な対話と順応的管理が必要。



◆総合討論

- ・司会進行（向かって奥）：中 達雄（農村工学研究所
農地・水資源部長）
- ・パネラー：講演者５名
- ・会場の参加者からは、「技術の導入に当たっての注意点は？」、「再生可能エネルギーに対する国と農村の考えには大きな隔たりがあるのではないか？」などといった質問が次々とパネラーに寄せられ、活発な議論がなされました。

